



東川町幼児センター

4月園だより

令和6年4月1日発行
東川町幼児センター
82-3400

○年度の重点目標『心と体を動かし、主体的に遊びを展開する子の育成』

ご入園・ご進級 おめでとうございます

新入園児の皆さん、進級児の皆さんには、期待に胸をわくわくさせていることと思います。幼児センター職員も楽しみにしていました。ちょっと不安を感じている子もいるかもしれません、「わくわく どきどき きらきら」遊んでいきたいと思います。

子どもたちの健やかな成長を願い、職員一同、保護者や地域の皆さんから信頼される幼児センターを目指し、教育・保育を進めていきます。ご理解とご協力をお願い申しあげます。

《幼児センター教育・保育目標》

「げんきな子」・「やさしい子」・

「たのしくあそぶ子」・「かんがえる子」

この目標が日々の子どもの姿の中に生きづくことを願い、年度の重点目標を『心と体を動かし、主体的に遊びを展開する子の育成』とし、保護者、地域の皆さんと一緒に取り組んでいきます。

★☆★幼児センター合言葉★☆★

「わくわく」「どきどき」「きらきら」あそぼう！

令和6年度は新入園児56名を迎え、236名の園児と62名の職員でスタートしました。

学年	クラス	進級児	新入園児	全体
5歳児	しか	27	1	28
	くま	27	2	29
4歳児	つばめ	28	2	30
	ふくろう	28	1	29
3歳児	たぬき	9	6	15
	こいぬ	8	7	15
	きつね	8	7	15
	ひつじ	9	7	16
2歳児	うさぎA	15	3	18
	うさぎB	15	3	18
1歳児	りすA	3	5	8
	りすB	3	6	9
〇歳児	ひよこ	0	6	6
	合計	180	56	236

日	曜	4月の行事	支援センター
1	月	安全点検日／園・全クラス便り発行	遊びの広場／◆ 午後開放 【月】0歳【火】1・2歳 【水～金】フリー
2	火		遊びの広場／◆
3	水		遊びの広場／◆
4	木	始業式・着任式	遊びの広場／◆
5	金	園内研修	遊びの広場／◆
6	土		
7	日		
8	月	保育園型平常保育	遊びの広場
9	火		遊びの広場
10	水		遊びの広場
11	木		よちよち教室 「お母さんの交流会」／◆
12	金	3歳以上児クラス便り発行	遊びの広場
13	土	第22回入園式／PTA総会 職員会議	
14	日		
15	月	身体測定(3歳未満児)	遊びの広場
16	火		遊びの広場
17	水	身体測定(3歳以上児)	遊びの広場
18	木	避難訓練	体験教室 「こいのぼり制作」／◆
19	金	Globe(5歳児)／尿検査① 内科健診(3歳未満児)	遊びの広場
20	土		
21	日		
22	月	幼稚園型平常保育 もちろんが集会／内科健診(3歳児)	遊びの広場
23	火	消防署見学(しか) 内科健診(4歳児)	遊びの広場
24	水	愛情弁当／消防署見学(くま) Globe(4歳児)	遊びの広場
25	木	交通安全教室／お楽しみ給食	遊びの広場／◆
26	金	内科健診(5歳児) 3歳以上児クラス便り発行 上幼研総会	遊びの広場
27	土		
28	日		
29	月	昭和の日	
30	火	もちろんが集会 園・3歳未満児クラス便り発行	遊びの広場



☆お知らせとお願い☆

① 新入園児の慣らし保育について

【保育園型】4月 1日(月)～ 6日(土)まで

【幼稚園型】4月 15日(月)～ 19日(金)まで

*給食を食べてからの降園です。12時30分までに、お子さんのクラスまでお迎えをお願いします。

O・1歳児は少し早めにお願いします。

② クラス写真撮影について

*4月22日(月)～30日(火)の期間、子ども達が全員揃ったクラスから写真を撮ります。全員揃わない場合でも、最終日30日には全クラス撮影しますのでご了承ください。

③ 内科健診

O・1・2歳児・・・19日(金)12時10分～

3歳児・・・22日(月)12時30分～

4歳児・・・23日(火)12時30分～

5歳児・・・26日(金)12時30分～

*当日は、着脱しやすい服装で登園してください。また、衣服には名前の記入を忘れずにお願いします。

④ 体の話(奇数月)

*看護師が体の働きや健康について、年齢に合ったお話をします。3歳児は7月頃より始まります。



✿第22回入園式について✿

日 時：4月13日(土)9時30分～

場 所：東川町幼稚センター プレイルーム

登 園：8時50分～9時00分の間

*この日は親子での登園をお願いします。

内 容：入園式・クラス懇談・PTA総会

降 園：PTA総会終了後

(11時30分終了予定)



☆スリッパ等の上履きを持参してください。

☆詳細は3月に配信(新入園児は送付)しました

「第22回入園式について」をご確認ください。

☆着任のお知らせ☆

4月1日付で勤務することになりました。

よろしくお願いします。

☆子ども未来課

*主任 柳澤 加波

*事務補 斎藤 弥生



☆幼児センター

*保育士 織田 奈由美

*保育士 水澤 ほの香

*短時間保育士 針ヶ谷 元美加

*短時間保育士 五十嵐 桂

☆正面玄関前通路への車の乗り入れ禁止と

駐車場の注意について☆

正面玄関前通路への許可車両以外の車の乗り入れは、園児の安全のために禁止しています。お子さんの送迎時は、必ず車を駐車場に停めてください。また、駐車場には小学校の通学路もあり、たくさんの人や車が出入りします。お子さんとしっかり手を繋いで歩くなど約束をし、駐車場内では絶対に遊ばないようにしましょう。駐車場内の保護者の立ち話も控えてください。運転する時は後方にも十分注意し、徐行運転をお願いします。また、駐車場をふくめ敷地内は禁煙です。ご協力をお願いします。

*駐車場につきましては、別配信の「駐車場について」もご確認ください。

☆正面玄関の出入り時の施錠について☆

子ども達の手の届かない高さに手動の鍵が付いています。出入りの際には必ず施錠をしてください。開閉しづらい場合がありますので、施錠されたことを確認するようにしてください。扉がレールから外れてしまうため、開閉は優しく、また、お子さんが鍵の開閉をしないようにお願いします。

☆感染予防にご協力ください☆

お子さんの朝の検温、体温の記入、玄関での手指消毒をお願いします。

☆欠席連絡について☆

当日の欠席や遅刻連絡は、9時までにコドモンか電話でお願いします。9時を過ぎてからの連絡は、必ず電話(82-3400)でお願いします。欠席連絡がない場合は、幼児センターから確認の電話をかけさせていただきます。



いなほ

「1年を振り返って」

校長 松岡 達也

1年間を振り返って、今年度の東川養護学校では多くの変化と成長を経験しました。卒業と進級に寄せて、子どもたちの姿には明るい未来への希望が輝いています。

私は校長として3年間、子どもたちの成長を見守ってきました。この期間を通じて、子どもたちの内に秘められた可能性や情熱を目撃することができ、その成長に胸を躍らせてています。

笑顔で挨拶をしてくれる子どもたちがどんどん増えてきたことは、この1年間の素晴らしい変化の一つであり、心の豊かさと共に、社会性やコミュニケーション能力が向上していることを感じます。

コロナ禍で多くの行事が中止や制限を余儀なくされた時期もありました。しかし、私たちは工夫と努力によってその逆境を乗り越えてきました。オンラインでの授業や日常生活での感染予防対策など、様々な状況に柔軟に対応し実際に多くの取り組みが行われ、子どもたちの学びと成長を支えました。

逆境にもめげず、困難を乗り越える力を身に付け、未来に向かって前進する準備は整っているはずです。子どもたちが大きく飛躍し、自分の夢や目標に向かって、これからも進んでいくことを願っています。

卒業生のみなさんへ、心からおめでとうございます。卒業と進級という新たなステージに進む皆さんには、これまで学んできたことを活かし、そして新たな挑戦に向かって前進していってほしいと思います。未来にはさらなる成長や希望が待っています。これからも、皆さんの活躍を心から応援しています。

小学部

「わくわく、どきどき」それから…

小学部 佐藤 健

新しい人、新しい場所、たくさんの“新しい”に囲まれて新学年が始まりました。それから早いもので1年…、今では「はじめて」のことや「ちょっとぴり、どきどき」することも少なくなり、みんなすっかり馴染んで学校生活を送っています。

4月最初と今3月の通信の写真を比べると、みんながたくさんの経験をして、大人っぽく、そして、素敵に成長したことがとてもよく分かります。もうすぐ次の4月！6年生は中学部へ！1～5年生は一つ上の学年に！新たな「わくわくどきどき」の始まりです。保護者の皆様には今年1年間、様々な面でご理解とご協力をいただきましてありがとうございました。



中学部

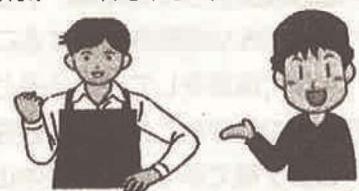
「1年を振り返って」

中学部 佐藤純平

4月に4名の新入生を迎えた令和5年度の中学部は総勢28名でスタートしました。4月に1名の転出があり、27名で学習を進めてきました。2、3年生は1年生の見本となるよう真剣に学習に取り組み、様々な場面で先輩らしい姿を見せてくれました。1年生も新しい環境に早く慣れようと、学級だけでなく学年、学部での学習にこつこつと取り組んできました。

1学期には校内作業や見学旅行、宿泊研修があり、2学期には体育大会や東川養護祭と大きなイベントがありました。5月に、コロナが5類となり、中学部では、コロナ禍の学習活動とそれ以前の活動の経験を生かしながら、生徒の学習活動に取り組んできました。また、3学期には歩くスキー大会や製品販売会と、卒業・進級に向けて1年のまとめの学習に取り組んできました。4月からはそれぞれが身に付けた『自分らしさ』を1学年上の新しい環境で発揮してくれるものと期待しています。

最後になりましたが保護者と地域の皆様、生徒たちを支えてくれた関係者の皆様、一年間中学部の教育活動にご理解、ご協力いただきありがとうございました。



高等部

「令和5年度を振り返って」

高等部 川森猛司

東川養護学校高等部生徒のみなさん。卒業、進級おめでとうございます。

今年度は天気の移り変わりが激しく、みなさん大変だったと思いますが、そのような中でもこの1年間、高等部の生徒たちはとてもよく頑張りました。

令和5年度は新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、学習活動への制限が以前よりも緩和されました。交流学習や東川養護祭など、昨年度よりも交流する機会が増え、人と人との笑顔で接する場面が多く見られました。保護者並びに地域の皆様におかれましては、作業製品販売会をはじめ、各種高等部行事にお越しいただきましてありがとうございました。また、校外学習や見学旅行など、生徒たちにとって大変思い出深い活動を行うことができました。

特に3年生は前提実習を行うとともに、卒業後の地域生活を見据えながら学習を進め、そしてこの度、無事卒業式を迎えることができたことをとても嬉しく思います。個人目標を達成するために事業所職員や利用者の方にお世話になり、進路の内定をいただいたことは、事業所のご理解とご協力があったからだと思っています。

令和6年度の高等部においては、今年度、生徒たちが経験を通して積み重ねたものを生かして、さらに「ステップアップ」して学習活動に取り組んで参ります。

保護者の皆様や地域の皆様、来年度も東川養護学校高等部へのご理解とご協力、またご支援をいただきますようよろしくお願ひいたします。1年間、ありがとうございました！



訪問教育学級

「令和5年度を振り返って」

訪問教育学級 渡辺 靖庸

訪問教育学級「書き初め大会」では、自分の好きな言葉を書いたり、絵を描いたりしました。使い慣れない毛筆でしたが、墨の香りや筆の質感を楽しんだり、文字の大きさやバランスを考えたりしながら、意欲的に取り組んでいました。作品を学校や旭川医科大学病院掲示板に展示したところ「とても楽しそう。」などのコメントが寄せられ、頑張って取り組んだ姿を多くの方に見ていただくことができました。

また、ロサンゼルスドジャースの大谷翔平選手から野球グローブの寄贈があり、児童生徒は手に取って着けてみたり、キャッチボールをしたりしました。また、これをきっかけに、iPadでキャッチボールや変化球の動画、大谷翔平選手についての調べ学習をするなどタブレット端末を主体的に使って学ぶ機会が増えました。

令和5年度も関係機関のご理解、ご協力により学習を実施させていただき、子どもたちの成長と毎日の素敵な笑顔を見ることができました。保護者の皆様には様々な場面でご協力いただきありがとうございました。次年度もどうぞよろしくお願いいいたします。



学年末・学年始めの主な予定

3月22日（金）修了式・離任式（在校、訪問）

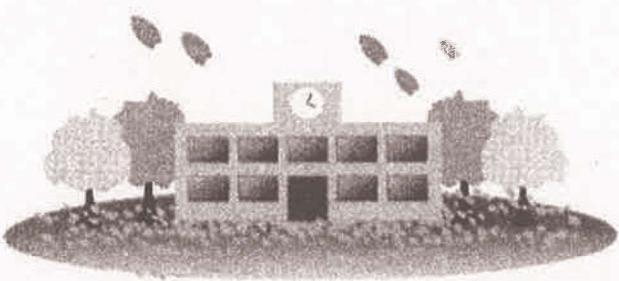
3月23日（土）～31日（日）学年末休業

4月 1日（月）～ 7日（日）学年始休業

4月 8日（月）着任式・第1学期始業式（在校、訪問）

入学式（高等部）

4月 9日（火）入学式（小中学部、訪問）



※学校ホームページを適時、更新しておりますので閲覧ください。<http://www.higashikawayougo.hokkaido-c.ed.jp/>

休み中、何かありましたら、学校あて電話またはフォームにてお知らせください。右の二
次元コードからフォームにアクセスできます。皆様のご理解とご協力を
お願いいたします。



学校法人 北工学園

地域生活支援センター

ふれ愛の郷だより

令和6年4月

第215号

〒071-1497 上川郡東川町進化台 Tel:0166-82-4858 Fax:0166-82-5420
学校法人北工学園 地域生活支援センター「ふれ愛の郷」

2024年度となりました

2024年の新年度となりました。

コロナの影響が弱まったとは言え、次々に猛威をふるうウイルスが出現し油断はできませんが、できる限りの予防策を講じて職員一同努めてまいりますので、よろしくお願ひ申し上げます。

4月の遊びの広場…17日(水)・24日(水)

『トイトイの森でつくしやふきのとう、
フクジュソウのお花を見つけましょう』



4月のドゥーラカフェ…26日(金)10:30~12:00

『抱っこ紐無料相談室(ご希望の方はお電話下さい)』

TEL 0166-82-4858 ふれ愛の郷

皆さんのご参加お待ちしております♪

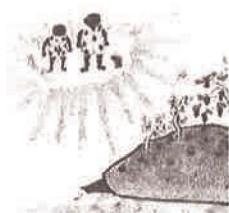
ふれ愛絵本棚

「けちんぼおおかみ」

神沢利子・文
赤羽末吉・絵

アイヌユーカラの中のお話

「けちんぼおおかみ」



ひととき



4月になりましたが、雪解けが遅れている
ような気がしているのは私だけでしょうか。
日差しが温かみを増してくると、ウキウキ気
分で屋外散策につい出かけたくなります。

屋外散策の楽しみと言えば、季節の移り変わりの自然の風景
とともにカフェめぐりもその一つですよね。東川にはコーヒーを
焙煎して店内で飲食できるカフェが点在して(近々新規オープン
のお店もあるようで)、お散歩、サイクリング、ドライブの楽しみ
が増します。

コーヒーのお味もお店ごとの個性があり、その日の気分で選
べるって贅沢ですよね。私は東川町内のコーヒーも味わってい
ますが、旅に出ると旅先のお店(なるべく焙煎しているところ)を見
つけて購入してきます。帰宅後に豆をカリカリ挽いて味わい、
旅の思い出に浸るのではなく、このコーヒーはどの食べ物に合
うかなと頭の中はすでにそちらです(笑)

さて、それでは道草館でカフェめぐり(いろいろなお店のコーヒ

多文化共生室は留学生と町民の交流をサポートしています

「東川の日々 わが宝もの」

まだ雪景色の3月中旬、町民の祝福をうけて東川日本語学校と旭川福祉専門学校の卒業式が行われました。コロナ禍直後の厳しい環境が続くこの1~2年間、それぞれの課題と格闘し、勝利した国内外の学生たち。晴れやかな笑顔満面に、学舎(まなびや)を巣立っていきました。



↓、成績優秀者には町長賞などが贈られました。16日、農村環境改善センターでも福祉専門学校の日本語学科を含む4つの学科合わせて190人が三宅良昌校長から証書とともに、新しい挑戦へのなむけの言葉を受けました=右の写真=。



両校ともアジアを中心

とした留学生が多く、誇りを胸にカラフルな民族衣装で出席。式後には在校生や先生、町民たちから温かい祝福の言葉を受けていました。卒業生たちに、東川での日々を尋ねると、異口同音に「町民のみなさんの温かい支援が忘れない」と眼を輝かせていました。

「国際」軸に若者交流

北海道文教大国際学部(恵庭市)の学生たち約50人が2月から3月中旬まで、4回に分け東川町を訪問して町内の留学生たちと交流、それぞれが持つ最新

東川の留学生と道文教大生

情報を熱っぽく交換し合いました。



せんとぴゅあ!のコミュニティホールでの交流会には日本語留学生が出席。自國の文化や社会について筆談も交え懇切に説明しました。一方の同大国際コミュニケーション学科生たちにとって交流会は正課授業の一環。引率の魯箏・准教授は「将来の国際活動を見据える意味で学科生たちに取ってよい経験になります」と話していました。

学生記者4人旅立ちのことば

★ 学生記者活動の一年間、いろいろなことを学びました。おかげで、毎月東川町のイベントに参加でき、多くの思い出ができました(カエル) ★ 日本語の活用が上達した。様々のイベントを体験し、一層充実を感じました。記事を見ててくれた町民に声をかけられた時、とても嬉しかった(あお) ★ ニュースレター作りを通じて、自分の言葉遣いが上達できました。新入生

の皆さん、授業はもちろん、課外活動も日本語の勉強に役に立ちますよ!(バンビ) ★ ニュースレターブルーバーに参加させていただき、大変光栄に思いました。様々な経験を積むことができ、とても楽しかったです(ルカ) =写真左から右へ=



へ係から4人からバトンを引き継ぐ学生記者を、東川日本語学校と旭川福祉専門学校から募集します。問い合わせは多文化共生室まで。

“甘い思い出”も残った！



卒業を前にした留学生ら12人が3月7日、農村環境改善センターで赤羽ひろ子先生のお菓子教室に参加しました。「厳しい日本語学習を乗り越えた」。みんな、そんなすがすがしい笑顔でいちご大福やロールケーキに取り組みました。

レシピがいいのででき上ったスイーツはとても美味しかった。先生ご用意のプリンと飲み物もいただき、贅沢なティータイムを過ごしました。ある学生は「砂糖をそんなに加えなかったのに、ほどよい甘さ。国に帰って作ってみたい」。

「ようこそ！タイから」

71人迎え短期日本語研修始まる

東川日本語学校では3月14日、タイから71人を迎えて短期研修がはじまりました。小学高学年から大学生までの若い世代を中心に、5月初旬までの2か月間、日本語を学びながら書道や陶芸などの文化活動、初春の人気スポット巡りを楽しみます。



日本全体の留学生数は中国、ベトナム、ネパールの順。でも同校の長期生に限れば、57人の中国をはるかに超える129人（昨年11月現在）のタイが断然トップ。「短期研修でもタイからの潜在需要はとても大きいが、質の高い学習環境の維持を優先しています」と学校側は慎重な構えを見せています。

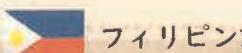
3月のイベント報告

（カッコ内的人数は留学生の参加者）

- ・日本の大学生と交流しよう！北海道文教大学×ひがしかわ留学生（1日・8日、17人）
- ・フットボール交流会！KAMUIFC HIGASHIKAWA×ひがしかわ留学生（2日、4人）
- ・スキーレッスン体験（5日・6日、13人）
- ・新聞で学ぶ日本語俱楽部（6日・14日、5人）
- ・星空撮影会（8日、2人）↑

世界のことば

また会いましょう！②



フィリピン語

マグキータ タヨウ ウリット



マレー語

ジュンパ ラギ！



モンゴル語

ダラー オオルジー



ウズベキスタン語

Дараа уулзъя!



ミャンマー語

ナウ フマートウェジャー ペーダーポ

နောက်မှ တွေ့ကျေးထာပါ！

日本語のなぞ 教えて！ヒガシカワ先生

「ヒガシカワ先生」「自信しかない」。読売中日に移籍した有名な野球選手が新チームでの負けをきかれてこう答えていました。「しかない」は数量が限られていて他にないさまをいう。自信満々に「自信しかない」というと、尊大な印象を与え、違和感があります。

「自信しかない」は尊大かも

留学生 日本語を教えてくださった先生に、私は「感謝しかありません」と言いましたが、ヒガシカワ先生 うーん、それは「感謝しきれない」謙虚な気持ちを込めたよい表現です。それについても、「自信しかない」のような用法は今後、広がるかもしれませんね。

- ・札幌出入国管理局旭川出張所/無料相談会（8日、6人）
- ・旭川西高等学校の高校生と交流しよう！（11日、9人）
- ・冬の東川スノーシュー写真さんぽ（12日、2人）=写真
- ・糸かけ（15日、1人）
- ・けん玉（22日、70人）



東川町複合交流施設 せんとぴゅあ工・多文化共生室

〒071-1426 東川町北町1丁目1番1号

電話：0166（74）6815

編集：喜多 義憲

グエン バー ミン ヒエン



令和6年度第1回北海道警察官採用試験

知らなかつたやりがいが
ここにあつた



警察官なんて職業

考えたこともなかつた

1次試験：4月28日（日）

旭峰

4月

旭川東警察署
34-0110
東川駐在所
82-2154
東川西駐在所
82-2230
作成者 林中健浩

野外焼却は法律で禁止されています！

ドラム缶や簡易焼却炉による焼却も野外焼却（いわゆる「野焼き」）とみなされます。

違反すると「5年以下の懲役、もしくは1,000万円（法人は3億円）以下の罰金、またはこれらの併科」など重い罰則があります。



春の全国交通安全運動実施

4月6日（土）～15日（月）

ドライバーのみなさん！
歩行者を交通事故から守りましょう！



自転車利用者のみなさん！
交通ルールを守り、ヘルメットを着用しましょう！



北海道警察

旭川東警察署ホームページ
QRコードはこちら→→→
各種情報を掲載中です！！



HP 北海道警察からのお知らせ
大切な自転車には
ツーロックと
防犯登録を
忘れずにしましょう！

慣れた山は慣れた筋筋！



例年、4月に入ると、行者ニンニクやタケノコ等の山菜を求めて入山し、山中で道に迷ったり、沢へ滑落する事故が発生しているので次のことに注意が必要です。

- ①行き先を家族に伝えましょう。
- ②単独での入山は避けましょう。
- ③無理に山奥に入らないようにしましょう。
- ④目立つ色の服装で入山しましょう。
- ⑤携帯電話・ホイッスルを必ず持ちましょう。

春の火災予防運動

令和6年4月20日（土）～4月30日（火）

春 乾燥 強風 火災



春は空気が乾燥し、1年の中でも特に風が強い季節です！！

着火しやすくなる環境と、燃え広がりの原因になる強風という条件が揃うため、全国的に春は火災が多く発生しています。

火の元には十分注意して下さい。

大雪消防組合東消防署・東川消防団

上川郡東神楽町15号南3番地 TEL 83-0119 FAX 83-4030

住宅防火 いのちを守る10のポイント

様々な火災の中でも、特に住宅で発生する火災で多数の死者が出ており、その出火原因はたばこ、ストーブ、こんろ、電気機器など、生活する上で身近にある機器が多くを占めます。

日頃から取り組んでいただく住宅防火対策として、4つの習慣、6つの対策からなる「住宅防火いのちを守る10のポイント」を取りまとめました。

是非、ご家族の皆様で住宅火災からいのちを守るために対策をご確認ください。

4つの習慣



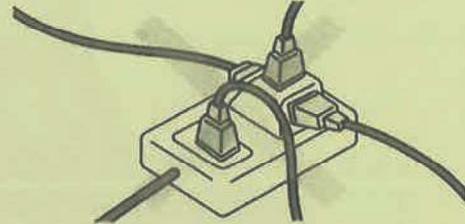
①寝たばこは絶対にしない、させない



②ストーブの周りに燃えやすいものを置かない



③こんろを使うときは火のそばを離れない



④コンセントはほこりを清掃し、不必要的プラグは抜く

6つの対策



①火災の発生を防ぐために、ストーブやこんろ等は安全装置の付いた機器を使用する



②火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を定期的に点検し、10年を目安に交換する



③火災の拡大を防ぐために、部屋を整理整頓し、寝具、衣類及びカーテンは、防炎品を使用する



④火災を小さいうちに消すために、消火器等を設置し、使い方を確認しておく



⑤お年寄りや身体の不自由な人は、避難経路と避難方法を常に確保し、備えておく



⑥防火防災訓練への参加、戸別訪問などにより、地域ぐるみの防火対策を行う

全国統一防火標語

『火を消して 不安を消して つなぐ未来』

赤十字動かす!

町内会などの地域でのご寄付のほか、
次の方方法でもご寄付を受け付けています

定期的・継続的な寄付をしたい

クレジットカードで

インターネット上でご登録手続きが可能です。スマホやPCから、下記検索方法または二次元コードから専用ページにアクセスしてください。

赤十字 寄付



銀行口座からの 引き落として

専用の口座振替申込書をご用意しておりますので、日赤北海道支部までご連絡いただき、必要事項をご記入のうえポストにご投函ください。

好きなタイミングで寄付をしたい

お近くの郵便局・銀行で(専用払込取扱票)



銀行口座からの 引き落として

専用の払込取扱票をご用意しておりますので日赤北海道支部までご連絡ください。寄付金額・住所・氏名等をご記入のうえ窓口で寄付できます。



あなたと想いをひとつにして。

災害、紛争、貧困や感染症...多くの人を苦しめる人達危機は、世界中でますます深刻化しています。幸せな生活を理不尽に奪われ、傷つき苦しんでいる人たちを救いたい。あなたのその想いを抱って、赤十字は今日も明日も活動を続けます。

いかなる状況下でも、人のののちと健康と尊厳は、守られなければならない。

365日途切れることのない救援と支援は、あなたと赤十字のアクションです。



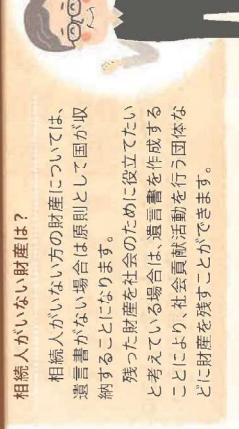
寄付金付き自販機 引き落として

自販機の売上の一部から寄付をいただく寄付金付き自販機があります。



自分の築いた財産や故人の思いを社会のために 相続財産・遺贈寄付のご案内

近年、「自分の築いた財産を社会に役立てたい」といったご相談や大切な方を亡くされた方から「故人の財産を社会に役立てほしい」といった想いお申し出が増えております。日本赤十字社では、このような尊い思いに応えるために遺贈(遺言による寄付)・相続財産寄付を承っております。パンフレット等もご用意しておりますので、日赤北海道支部までお問合せください。



ご存じですか? 遺贈・相続財産寄付の豆知識

相続人がいない財産は?

相続人がない方の財産については、相続税がない場合は原則として国が取納することになります。

残った財産を社会のために役立てる

と考えている場合は、遺言書を作成する

ことにより、社会貢献活動を行う団体な

どに財産を残すことができます。

専用の払込取扱票や各種資料のご請求、お問合せは
TEL: 011-231-7126



〒060-0001 札幌市中央区北1条5丁目
TEL: 011-231-7126



お問合せフォームはこちらを読み取る
e-mail: shinkou@hokkaido.jrc.or.jp

令和6年度

日本赤十字社 北海道支社
Japanese Red Cross Society

日本赤十字社公式キャラクター
「ハートちゃん」

日本赤十字社は、災害救護活動などをを行う民間の法人です。
その活動は、国や地方自治体からの補助金ではなく、
みなさまからの寄付に支えられています。

今和4年度 活動資金の使いみち

本年も活動資金へのご協力を、何卒よろしくお願ひいたします。

皆さまからのご支援をもとに、日本赤十字社北海道支部は人の『いのちと健康、尊厳を守る』
人道的な活動を、道内各地、全国都道府県、世界各地で行っています。

令和4年度 活動資金として 388,593,660円 のご協力をいただきました。



01 災害救護活動

あらゆる状況下において「人間のいのちと健康、尊厳を守ること」を使命とする日本赤十字社において、「救護活動」は設立当初からの柱として、今まで様々な災害現場で救護活動を展開してまいりました。万一の災害発生時には、全国91カ所(道内10カ所)の赤十字病院から「救護班」を派遣して医療救護活動を展開するほか、避難所の衛生指導、毛布等の救護物資の配分など、被災者のいのちと健康を守る様々な活動を、全国各地で実施しています。

02 国際活動

190を超える国と地域に広がる赤十字のネットワークを活かし、紛争や自然災害、感染症等で苦しむ世界中の人々を救うための救援活動や開発協力などを実施しています。

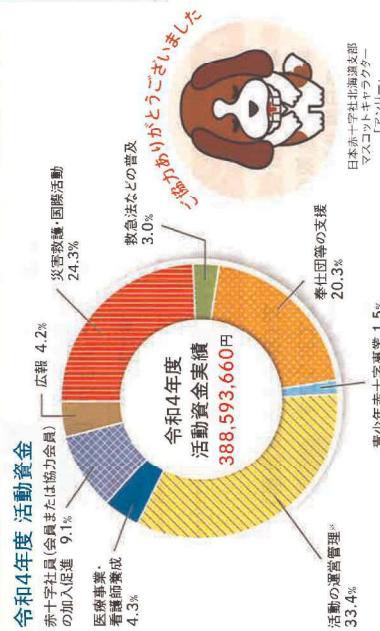
03 救急法などの普及

心肺蘇生やAEDの使用方法、高齢者支援に役立つ介護技術、子どもたちの事故防止と応急時の手当などについて、各種講習会を開催し、緊急時の手当てや事故防止に必要な知識や技術を普及しています。

04 赤十字ボランティア

赤十字の使命である「苦しみのある人・困っている人の役に立ちたい」という思いを持つ各赤十字ボランティアにより、地域のニーズに応じた活動を各地で実施しています。

皆様のご協力に感謝申し上げますー
令和4年度、活動資金として 388,593,660円 のご協力をいただきました。



緊急セット (2世帯8人分)
災害発生時からの避難所生活の際に必要となるものが一式収納された緊急セット2セット(2世帯8人分)を備えることができます。

皆様のご寄付でできること

被災地での救援活動、救援物資の備蓄などは皆様のご寄付により支えられています。
たとえば 10,000円のご寄付で



毛布 (1人1枚)
災害により自宅に被雪が生じ、避難所への避難を余儀なくされた方にお配りする毛布を1枚備えることができます。

町内会や会社、学校で
赤十字を活用ください

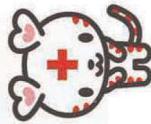
「自助」「共助」とよく聞くが何をしたらよいのかわからない、どこに相談してよいのかわからず、そんなときは赤十字をご利用ください。

高齢者の支援・自立に役立つ介護技術を知りたい

AEDの使い方や
けがの手当の仕方を
知りたい



防災・減災の考え方や
知識・技術を知りたい、
ノウハウを持った職員・ボランティアがみなさまのところに伺います。



05 青少年赤十字



学校教育の現場で、様々な実践を通して子どもたちのいのちを大切にし、相手を思いやる「こと」と「気づき、考え、実行する力」を育んでいます。

お問い合わせは **TEL.011-231-7126**